

令和4年度 京都市美術館協議会 議案書

令和4年11月8日



**京都市美術館
(京都市京セラ美術館)
概 要**

施設概要

名称	面積(㎡)	名称	面積(㎡)	名称	面積(㎡)
北回廊 1階 展示室	840.72	別館 第1展示室	416.78	中央ホール	588.79
北回廊 2階 展示室	983.19	別館 第2展示室	499.85	カフェ	251.21
南回廊 1階 展示室	878.14	光の広間（北中庭）	445.89	ショップ	137.83
南回廊 2階 展示室	1,000.05	天の中庭（南中庭）	445.89	京セラスクエア	2,964.37
東山キューブ展示室	950.27	収蔵諸室	1,555.21	東山キューブテラス	616.91
ザ・トライアングル	89.61	講演室	179.49	日本庭園	3,411.79

■開館時間

10時～18時（展示室への入場は17時30分まで）

■休館日

月曜日（祝日の場合は開館）／年末年始（12月28日～1月2日）

■観覧料

コレクションルーム（常設展）

一般 京都市内在住の方：520円（70歳以上、障害者手帳を提示の方及びその介護者1名は無料）
市外在住の方：730円 団体（20名以上）：620円
小中高生等 京都市内在住又は通学の方：無料
市外在住の方：300円 団体（20名以上）：200円

小学生未満無料

「京都市美術館再整備基本計画」（平成27年3月策定）

- ・ 貴重な文化的財産を保存継承し、多様な美術作品の鑑賞機会を提供するとともに、次世代の若手作家や市民の創造的活動を支援する**複合型美術館**を目指す。
- ・ 芸術系大学や学校の美術教育との連携、市民協働の推進により、すべての人に開かれた生涯学習の場となる**社会教育施設**を目指す。
- ・ 岡崎地域のポテンシャルを生かし、文化・観光振興のための多彩なプロモーションを可能とする**国際文化観光都市・京都の発信拠点**を目指す。

運営体制等

＜総務課＞事務職員…12人（部長1、課長2、課長補佐・係長3、係員4、事務補助2）
＜学芸課＞学芸員…9人（係長1、係員3、会計年度任用職員3、学芸補助2）
＜主な外部委託の状況＞

業務名	業務内容	委託先
事業企画推進業務	事業企画業務（展覧会企画・誘致等、学芸員5名在籍）、企画推進業務（展示デザイン、広報PR、スペースレンタル営業などの支援）	（株）長谷ビル
運営サービス業務	来館者及び利用者への総合サービス、総合案内・クローク業務、チケットカウンター、改札、看視業務	サントリーパブリシティサービス（株）
施設マネジメント業務	展示・イベント・施設利用に係る管理及び運営支援業務	（株）ブランコ
清掃業務	本館及び別館の清掃業務	日本管財（株）
建築設備保守管理業務	本館及び別館の建築設備保守管理業務	日本管財（株）
警備業務	本館及び別館の警備業務（24時間常駐）	セコム（株）

■平成27年3月「京都市美術館再整備基本計画」

美術館運営の基盤をなす学芸部門は直営体制を基本とし、広報や資金調達など、民間の人材、ノウハウが活かせる部門については民間活力の導入も視野に、京都市として責任ある体制を堅持しつつ、さらに魅力を高める運営の在り方を検討する。

令和 3 年度事業報告

主催展一覧

近現代日本画、現代美術、工芸、アニメ、建築など多様な作品の鑑賞機会を提供。

展覧会名	共催	会期	日数	会場	入場者数実数(人) (1日あたり)
平成美術：うたかたと瓦礫 1989-2019	朝日新聞社	R3.1.23～R3.4.11	68	新館東山 キューブ	20,833 (306/日)
THEドラえもん展 KYOTO2021	テレビ朝日 朝日新聞社他	R3.7.10～R3.9.5	51	新館東山 キューブ	79,015 (1,549/日)
上村松園	京都新聞 日本経済新聞社	R3.7.17～R3.9.12	51	北回廊1F	39,885 (782/日)
コレクションとの 対話：6つの部屋	読売テレビ	R3.10.9～R3.12.5	50	北回廊1F	6,916 (138/日)
モダン建築の京都	京都新聞 NHK京都放送局 他	R3.9.25～R3.12.26	80	新館東山 キューブ	43,632 (545/日)
第8回日展京都展	京都新聞	R3.12.18～R4.1.20	20	北回廊 1F2F、光 の広間、 南回廊2F	20,790 (1,040/日)
森村泰昌：ワタシ の迷宮劇場	毎日新聞社 京都新聞	R4.3.12～R4.6.5	76	新館東山 キューブ	18,405 (242/日)
合 計			396		229,476

平成美術：うたかたと^{デブリ}瓦礫 1989-2019

新館「東山キューブ」にて、
美術評論家の榎木野衣を企画・
監修に迎え、独自の視点で選定
したアーティストたちによる集
合的活動にフォーカスし、平成
年間（1989-2019年）の美術を
振り返る展覧会。



Photo: Kioku Keizo

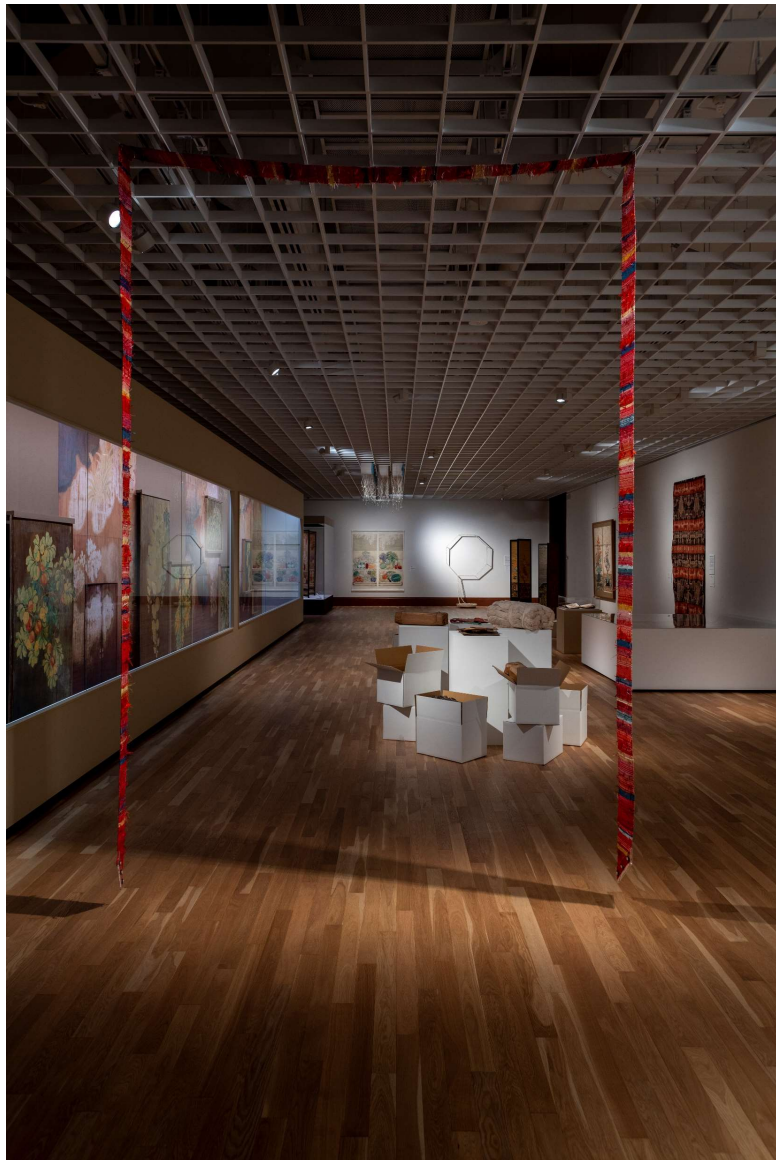


現代アートの最前線で活躍する28組のアーティストによるドラえもんをテーマとした展覧会。

Photo: Miyoshi Fumitaka

近代の京都画壇を代表する日本画家・上村松園（1875－1949）の画業をふりかえる回顧展。《序の舞》、《母子》の2点の重要文化財をはじめ、《焰》、《草紙洗小町》などの代表作100点余りを展示した。大正期の発表以来、行方不明となっていた《清少納言》の新発見などの話題を提供。





撮影：福永 一夫

所蔵品や資料を着想源として、宮永愛子、高橋耕平（ともに現代美術家）、ひろいのぶこ（繊維造形作家）、青木淳（建築家）が、独創性に富んだ展示を行い、竹内勝太郎、加藤一雄（ともに旧京都市美術館職員）、アンドレ・ロート（画家）については、ゆかりのある所蔵品と共に展示を構成し、コレクションの新たな魅力を提示。

京都を代表するモダン建築の一つ、京都市京セラ美術館を会場に、建築を通して京都を知る当館初の大規模建築展。貴重な原図面や模型から時代背景を伝える写真や映像、家具まで多様な資料を展示。



Photo: Koroda Takeru



明治40年に開設された文部省美術展覧会を前身とする全国規模の公募展の京都巡回展。日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門にわたって、全国巡回の基本作品と、京都・滋賀の地元作品の計475点が出品された展覧会。

現代美術におけるセルフポートレートの先駆者の一人である森村泰昌が、秘蔵インスタント写真800枚以上を含む作品から35年超のキャリアを総括する大規模個展。



Photo: Miyoshi Fumitaka

ザ・トライアングル

令和2年のリニューアルオープンに際して新設した展示スペース。京都ゆかりの作家を中心に新進作家を育み、当館を訪れる方々が気軽に現代美術に触れる場を提供。

■宮木 亜菜「肉を束ねる」

(令和3年6月29日(火)～令和3年10月10日(日))

※ 8/23～9/30 休止

■加納 俊輔「サンドウィッチの隙間」

(令和3年10月26日(火)～令和4年1月23日(日))

■川人 綾「斜めの領域」

(令和4年2月8日(火)～令和4年5月15日(日))

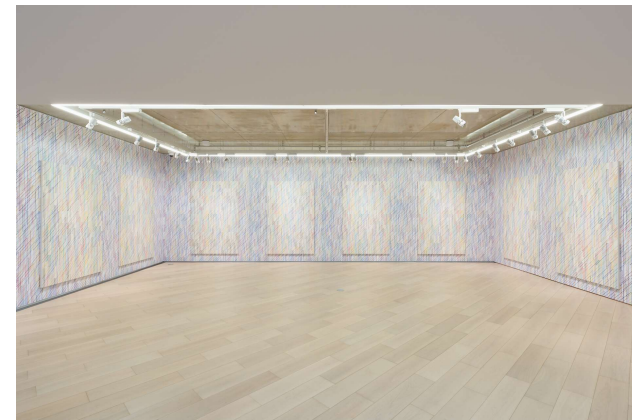
宮木 亜菜「肉を束ねる」



加納 俊輔「サンドウィッチの隙間」



川人 綾「斜めの領域」



コレクションルーム（常設展）

平成12年度から、所蔵品を展示する「京都市美術館コレクション展」を年数回開催。リニューアル後は、四季に合わせた年4回の展示替えにより所蔵品を展示する「コレクションルーム」を新設。京都市美術館の所蔵品を年間通じて鑑賞できる環境を整備。

展覧会名	会期	日数	会場	入場者数実績（人） （1日あたり）
春期	R3.3.20～R3.6.20 (4/25～5/31休館)	49	南回廊 1F	6,711 (137/日)
夏期	R3.6.26～R3.9.26 (8/23～9/30休止)	51	南回廊 1F	8,060 (158/日)
秋期	R3.10.2～R3.12.5	57	南回廊 1F	12,010 (211/日)
冬期	R3.12.11～R4.3.26	87	南回廊 1F	14,928 (172/日)
合 計		244		41,709

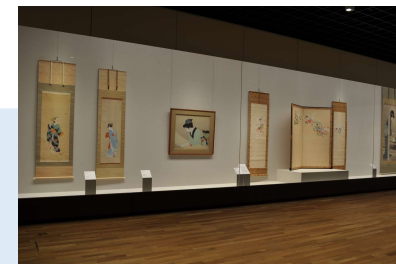
コレクションルーム（常設展） — 展示構成

春 期

- 106 春の女性
- 110 春の風景
- 109 新しい命/いみありがた表情/場を囲む
- 南広間 工芸の春
- 108 信仰としての自然
- 107 めぐる春、そして若者/青春のその先へ
- 106 曲線のフォルム、直線のはたらき

夏 期

- 106 夏の女性
- 110 夏の情景
- 109 上村松園
- 南広間 意匠化されたいきもの
- 108 いきものと日本画
- 107 夏のまどろみ/まぶたを閉じると
- 106 模様としての波



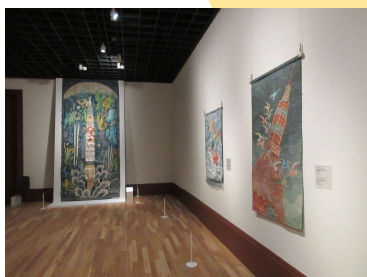
上村松園の特集展示

秋 期

- 106、110 秋の気配
- 109 大正の女性表現
- 南広間 食卓のうつわ（五代清水六兵衛 河合卯之助）
- 108 働く女性
- 107 秋を感じる/子どものすがた/山鹿清華と中村鵬生
- 106 深まる秋

冬 期

- 106、110 しずかなる絵
- 109 異国の情景
- 南広間 京焼の優品 楠部彌弼と近藤悠三
- 108 画家のアトリエ
- 107 室内にいる女性/時空を超えた眼
- 106 京都・染の系譜



山鹿清華の大型染織作品

（＊数字は部屋番号）

共催展

魅力的な海外展等を誘致する一方、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館等もあり、入場者数が伸び悩んでいる。

展覧会名	主催者	会期	日数	会場	入場者数実績（人） （1日あたり）
古代エジプト展	朝日新聞社 関西テレビ放送 東映 他	R3.4.17～R3.6.27※	33	北回廊1F	88,280 (2,675/日)
るろうに剣心展	「るろうに剣心 展」京都実行委 員会	R3.4.23～R3.6.6※	9	新館東山 キューブ	7,546 (838/日)
フランソワ・ポンポン展	関西テレビ放送 朝日新聞社	R3.7.10～R3.9.5	51	北回廊2F	34,347 (673/日)
KYOTO STEAM2022 国際アートコンペティション	KYOTO STEAM －世界文化交流 祭－実行委員会	R4.1.29～R4.2.13	14	新館東山 キューブ	4,941 (353/日)
兵馬俑と古代中国	産経新聞社 関西テレビ放送 京都新聞 他	R4.3.25～R4.5.22	52	北回廊2F	87,971 (1,692/日)
合 計			159		223,085

※ R3.4.25～R3.5.31 臨時休館

多様なジャンルの美術団体等に発表の場を提供することにより、次世代の若手作家や、市民の創作活動を支援。

年度	貸館件数	入場者数（人）	使用料収入（千円）
令和3年度	115	173,450	37,513
令和2年度	68	103,019	19,318
令和元年度	62	80,335	10,732

※令和元年度は、再整備工事による京都市美術館別館のみでの運用。

※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症に伴うキャンセルが相次いだ。

京都市美術館美術品収集方針

(平成30年11月14日決定)

日本文化の創造と継承の中心地である京都における近代以降の美術※1を展望できる総合的なコレクション※2を、世界的な視野に立って形成するために必要な作家の作品及び資料を計画的に継続して収集する。

1. 近代以降の美術において重要な位置を占める作家の作品及び資料を収集する。
2. 現代の美術において新たな展開を見せる作家の作品及び資料を収集する。
3. 近代以降の美術に有意義な関連のある国内及び海外の作家の作品及び資料を収集する。
4. 主要な作家については、作風の変遷を見ることができるよう、各時期の作品を収集する。
5. 上記の作品及び資料について、長期的な計画に従って毎年継続して収集する。

※1 明治以降から現在までの美術を意味するが、近代の美術の形成に影響を与えた江戸期の美術まで遡及するものとする。

※2 既存の部門（日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書）だけでなく、新たな分野（写真、映像など）の作品も対象とする。

美術品の収集

■ 収集点数：購入 4 点
寄贈 220 点

■ 購入作品：購入金額 12,698 千円)

- ・ 中村鵬生 《蘇鉄と鶏乃圖手織り錦壁掛》
- ・ 高橋耕平 《畏敬のかたち、あるいは喚起の振る舞いー 1 》
- ・ 田能村直入 《嵐山春景・滝野川秋景》
- ・ 野村仁 《Tardiology》

■ 主な寄贈作品

ZEROコレクション：令和4年度夏期コレクションルームにて展示

岸田劉生 《三果図》

中野越南 《後撰集 夏歌 秋歌》 他



田能村直入 《嵐山春景・滝野川秋景》



高橋耕平 《畏敬のかたち、あるいは喚起の振る舞いー 1 》



野村仁 《Tardiology》 (部分)

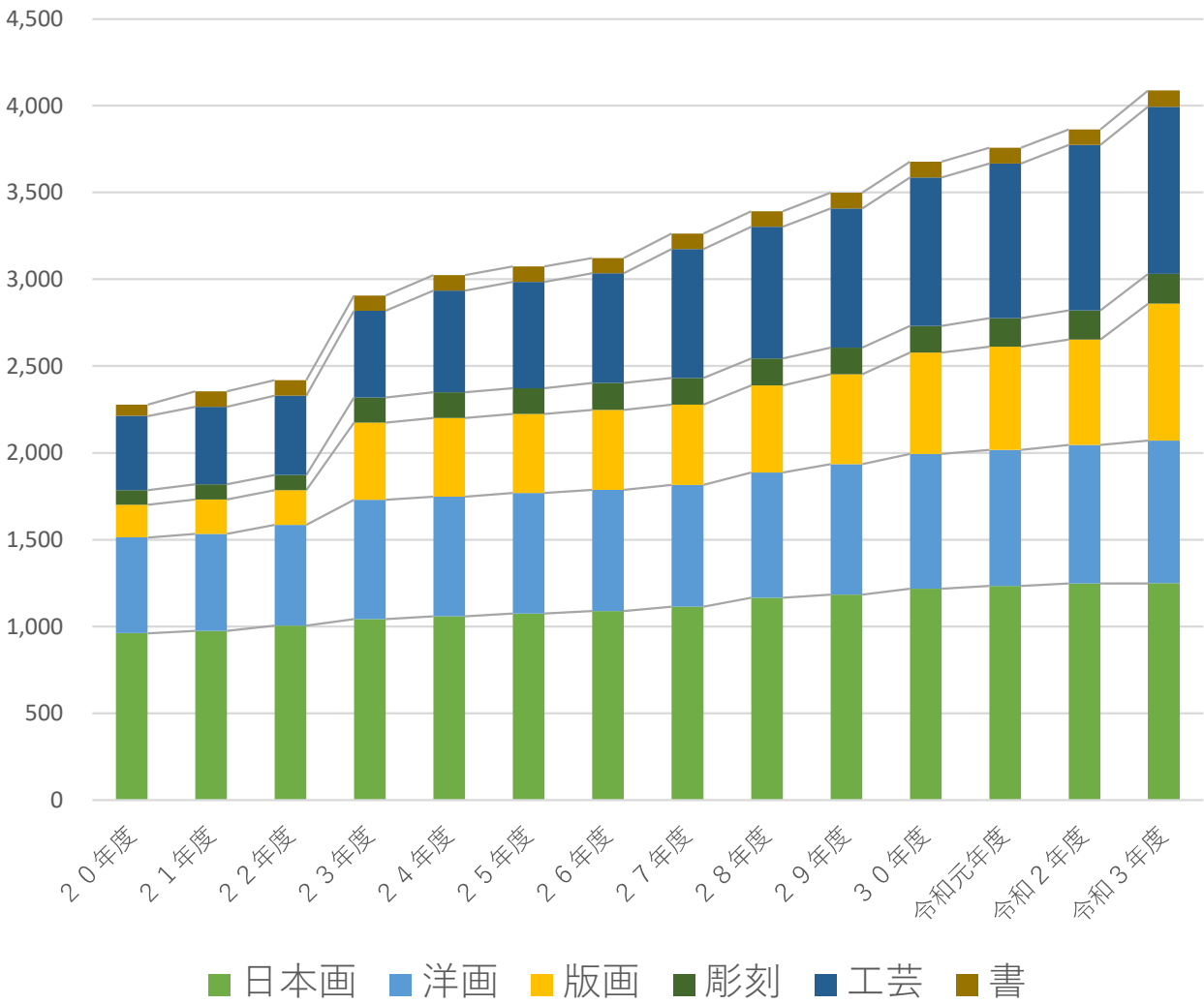
美術品の収集

令和3年度 取得内訳

日本画	2点
(計	1,249点)
洋画	23点
(計	822点)
版画	182点
(計	788点)
彫刻	4点
(計	172点)
工芸	10点
(計	963点)
書	3点
(計	94点)

※令和4年4月1日現在

収蔵品の推移



■ 作品貸出 令和3年度：16件 39点

(主な貸出先)

- ・レンバツハハウス美術館：「Group Dynamics—Collectives of the Modernist Period」
－梶原緋佐子《暮れゆく停留所》他 計2点
- ・三之瀬本陣芸術文化館：特別展「須田国太郎 in Spain」
－須田国太郎《ティツィアーノ「アダムとイブ」(部分)模写》他 計7点
- ・笠岡市立竹喬美術館：「歴史を旅する 谷口香嶠」展
－谷口香嶠《豊公挙婚儀図》他 計2点



梶原緋佐子《暮れゆく停留所》

■ デジタルアーカイブ

デジタル化したデータは、雑誌、書籍への掲載や作品貸出の際の活用に加え、美術館ウェブサイトの「当館の名品」コーナーで公開

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
日本画	1,271	1,273	1,289
洋 画	820	823	826
版 画	526	534	543
彫 刻	151	151	155
工 芸	736	736	790
書	74	78	78

デジタル化作品数（点）

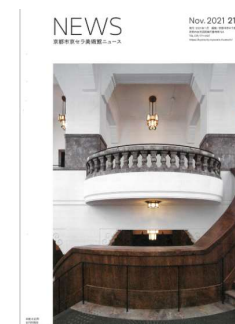
■美術館ニュースの発行（年2回）

217号：

- ・倉方俊輔「近現代の京都がモダンである理由」
- ・新装版「作家にきく」no. 2 中井貞次（聞き手：京都市美術館学芸課、ひろいのぶこ）
等

218号：

- ・京都市京セラ美術館開館1周年記念展「コレクションとの対話 6つの部屋」
レビュー：
鷺田めるろ「新作を生み出すコレクション」
等



■研究紀要（年1回発行）

第1号

○論文

- ・森光彦「久保田米僊《雨やどり》について—明治期における民権論と絵画—」
- ・山田隆行「面彫会と清水登之」

○資料紹介

- ・中谷至宏「大礼記念京都美術館評議員会 議事録」
- ・中山摩衣子「山鹿清華旧蔵資料調査報告—コレクションと対話：6つの部屋展に係るひろいのぶこの試みとともに—」

○作家にきく・三代宮永東山（聞き手・編集：後藤結美子、中山摩衣子、影山侑恵）

■ 図録執筆

『平成美術：うたかたと瓦礫 1989-2019』

作家・作品解説：土屋隆英、野崎昌弘、筒井彩

『京都市京セラ美術館開館1周年記念展 上村松園』

論文：山田諭「上村松園の芸術－最後の古典作家－」

作品解説執筆：山田諭、後藤結美子、大森奈津子

『京都市京セラ美術館開館1周年記念展 モダン建築の京都』

エッセイ：前田尚武

『京都市京セラ美術館開館1周年記念展 コレクションとの対話』

竹内勝太郎（以下、解説執筆者：中谷至宏）

加藤一雄（中谷至宏）

アンドレ・ロート（中山摩衣子）

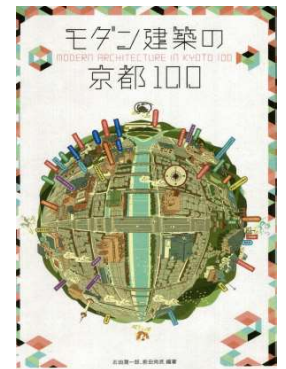
青木淳（中谷至宏）

宮永愛子（長尾衣里子）

ひろいのぶこ（中山摩衣子）

高橋耕平（長尾衣里子）

会場構成について（青木淳）



■ CONNECTとの取組

本館 光の広間で声と手話による映像の展示、手話と文字による館内案内動画の作成を行った。



■ ラーニングツールの作成

名画との縁結び等ラーニングツール（計9種）を作成し、館内での配布やHPへ掲載（ダウンロード可）

■ ぽよよんタイムの実施

談話室に、ラーニング担当スタッフが在室し、ラーニングツールの使い方等について話し合う機会を創出（計20回。延べ206名が参加）

■ 京都芸術教育コンソーシアム（Art-e Kyoto）への参画

■ ギャラリートークの実施

展覧会名	回数	延べ参加者数
平成美術：うたかたと瓦礫 1989-2019	2	24
THEドラえもん2021展	3	16
上村松園	3	60
モダン建築の京都展	5	141
コレクションとの対話：6つの部屋	6	83
森村泰昌：ワタシの迷宮劇場	5	58



■ アーティストトークの実施

展覧会名	回数	延べ参加者数
ドラえもん展 小谷元彦	1	50
ドラえもん展 鴻池朋子	1	20
上村淳之氏による特別講演会	1	21
ザ・トライアングル 宮木亜菜	1	30
コレクションとの対話：6つの部屋	4	169
ザ・トライアングル 加納俊輔	1	12
ザ・トライアングル 加納俊輔・高橋耕平	1	27



■ オンラインイベント

「宮永愛子 『あなたへの手紙』」 （1回。150名が参加）

その他、メンバーシップ会員向けにギャラリートークを開催

■ Instagram、Facebookへの記事掲載

年間通じてほぼ毎日、InstagramやFacebookに展覧会やイベント等に関する記事を掲載。

観光インバウンド拡充	海外メディア取材件数	外国語サイトのPV数	
実績	603件	60,726PV	
(目標値)	(500件)	(50,000PV)	
社会的・経済的効果	国内メディア掲載件数	Instagramフォロワー数	Facebookいいね数
実績	3,818件	30,578	13,213
(目標値)	(2,500件)	(35,000)	(18,000)



■ 公式YouTubeチャンネル
展覧会やラーニング等に関する動画コンテンツを作成し、
公式YouTubeチャンネルで公開。



動画名
「日本画の標本箱」 ―京都市立芸術大学との連携企画―
京都市京セラ美術館 ザ・トライアングル湊茉莉：はるかなるながれ、ちそうたどりて
《京都市京セラ美術館 手話による美術館のご案内》
ザ・トライアングル 宮木亜菜：肉を束ねる
対談 小山田徹×細馬宏道「談話室とワークシートの使い方」
《布とからだの移動》休館日のパフォーマンス映像
「大礼記念京都美術館」開館までの経緯について
「モダン建築の京都」関連プログラム講演会&ディスカッション「モダン建築の京都にみる日本の近代」
「コレクションとの対話：6つの部屋」開幕記念座談会「コレクションとの共演、競演、饗宴」登壇者：青木淳、ひろいのぶこ、宮永愛子、高橋耕平、モデレーター：中谷至宏
「コレクションとの対話：6つの部屋」対話シリーズ①青木淳×中谷至宏「素描を見つめて」
「コレクションとの対話：6つの部屋」対話シリーズ②ひろいのぶこ×中山摩衣子「山鹿精華旧蔵資料の調査について」
「コレクションとの対話：6つの部屋」対話シリーズ③高橋耕平×長尾衣里子「眠れるコレクションについて」
「コレクションとの対話：6つの部屋」対話シリーズ④宮永愛子×長尾衣里子「つながりを読む」
トークシリーズ「実はよく知らないんだよ。だから聞いてみようと思う。（中原）」松本卓也さんの回（2回目）
ザ・トライアングル 加納俊輔：サンドウィッチの隙間
京都市京セラ美術館開館1周年記念展「森村泰昌：ワタシの迷宮劇場」

■コレクションルーム音声ガイドの多言語化

コレクションルームで展示している作品を紹介する音声ガイドを、4か国語（日・英・中・韓）で作成しており、30作品分を新たに作成（累計155作品）。

■キャッシュレス対応

- ・クレジットカード、電子マネー、QRコード決済による観覧料や音声ガイド利用料（コレクションルームのみ）のキャッシュレス化
- ・自主・共催展覧会のオンラインチケット販売を実施
 - ※ 入場者多数の展覧会は日時指定チケットにより混雑緩和
 - ※ チケット販売のほか、事前に観覧券をお持ちの方による観覧日時予約も実施

※ チケット購入画面



アメニティ施設（カフェ・ショップ等）

ミュージアムカフェ「^{エンフューズ}ENFUSE」

営業時間：10時30分～19時（定休日：美術館休館日に準ずる）
利用者数：約62,000人（令和3年度）

＜令和3年度の主な取組＞

■ 展覧会にあわせた期間限定メニューの提供（以下は一例）



THE ドラえもん展 KYOTO 2021
コラボ和菓子



上村松園コラボ特製ハーブティー
（当館所蔵作品の＜初夏の夕＞がテーマ）



[2021年冬期]コレクションルーム
コラボ生菓子
（当館所蔵作品の木島桜谷＜寒月＞がテーマ）



■ 岡崎エリアにお弁当やドリンクをお持ち出しいただけるピクニックプラン



「ピクニックプラン」のほか、
「お弁当プラン」「サンドイッチプラン」も実施

アメニティ施設（カフェ・ショップ等）

ミュージアムショップ「ART RECTANGLE KYOTO」 アート レクタングル キョウト

営業時間：10時30分～18時30分（定休日：美術館休館日に準ずる）

利用者数：約39,000人（令和3年度）

＜令和3年度の主な取組＞

■ 展覧会にあわせた関連商品の販売（以下は一例）



上村松園オリジナルグッズの販売



菓子職人「御菓子司 聚洸」コラボ
（2～3カ月ごとにモチーフ（主に
展示作品）を替え、月2回の限定
販売）

■ 京都市京セラ美術館オリジナルグッズの販売

＜グッズの一例＞

茶筒、ハンカチ、Tシャツ etc



■ 京都ミュージアムズ・フォー

(参加館：京都国立博物館、京都国立近代美術館、
京都文化博物館、京都市京セラ美術館)

4 館スケジュールパンフレットの作成や連携講座、スタンプラリー、
4 館友の会相互割引の実施

■ 3 館相互割引

(参加館：京都国立近代美術館、細見美術館、
京都市京セラ美術館)

観覧者や友の会会員に対する相互割引の実施

■ 京都伝統産業ミュージアムとの相互割引 入場券の提示でコレクションルーム団体料金適用

■ 京博連（京都市博物館施設連絡協議会） 第25回京都ミュージアムロードへの参加



メンバーシップ

リニューアルオープンとともに京都市美術館友の会から京都市京セラ美術館メンバーシップに改め、区分の見直しを行うなど制度の見直しを行った。令和3年度についてはモダン建築展と連携し、当日e-フレンドにご加入された方を対象に割引を実施。

〈個人会員〉

区 分	令和2年度	令和3年度
フレンド	1,801	1,568
フレンドU25	41	72
サポーターフェロー	47	44
e-フレンド	313	1,378
合 計	2,202	3,062

〈法人会員〉

区 分	令和2年度	令和3年度
プラチナ（5,000,000円/年）	2	2
ゴールド（3,000,000円/年）	2	0
シルバー（1,000,000円/年）	6	7
ブロンズ（100,000円/口/年）	22	21
合 計	32	30

■活動

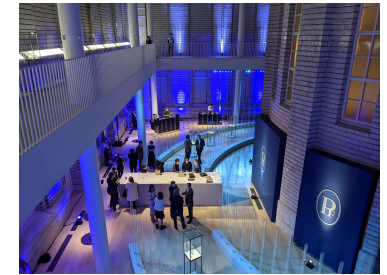
- ・Members Newsの発行（年4回）
- ・リニューアルオープン支援事業
美術館のリニューアルオープン記念に際し、調度品を贈呈
- ・美術館支援事業（作品修復等）

■実施イベント

- ・展覧会に係るギャラリートーク
- ・栗原邸（旧鶴巻邸）特別建築ツアー 等



光の広間を中心に、様々なユニークベニユー（本来の用途とは異なる特別感のある会場利用を行う施設）として積極的に活用した。

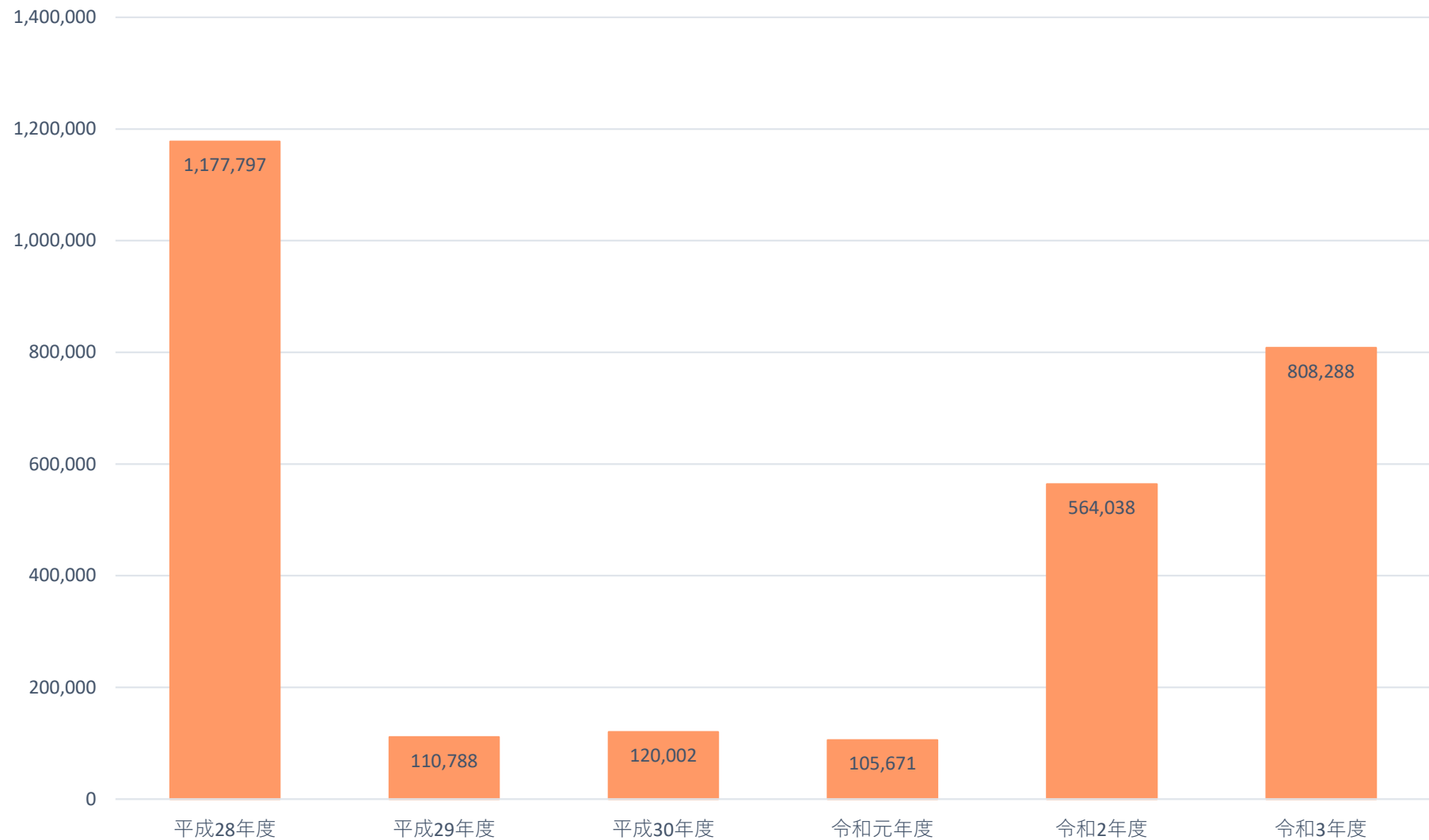


■ 主なMICE利用実績

内 容	期 間（設営撤去期間含む）
ラルフローレン受注販売会	R3.4.7~R3.4.12
WOWOW連続ドラマ「いりびと」撮影	R3.6.16~R3.6.17
結婚式	R3.9.13
ラルフローレン受注販売会	R3.9.29~R3.10.4
パルミジャーニ・フルリエ25周年記念イベント	R3.10.24~R3.10.25
Hackability of the Stool（椅子展示）	R4.3.13~R4.3.20

入館者数の推移（平成28年度～令和3年度）

入館者数の推移（人数）



令和 3 年度決算概要

令和 3 年度決算は、歳入が、展覧会収入等の減により約10億円から約8億円の減額となった一方、歳出は、運営経費の節減や執行抑制等により約2億円の減額となり、一般財源（市税等）の負担は予算どおり3億7,100万円となった。

(単位：百万円)

項目	令和 3 年度 予 算	令和 3 年度 決 算	差引	決算のうち主なもの
歳 入	1,054	813	241	コレクション展18、美術館使用料172、国補助金73、展覧会配当収入等480、市債61 など
歳 出	1,425	1,184	241	施設維持管理等354、展覧会企画・施設運営等336、コレクション展27、展覧会負担金等331、スプリンクラー整備57、レストラン棟改修40 など
一般財源 (税負担額)	371	371	0	

※前年度からの繰越を含む。

令和 4 年度事業について

＜再整備基本計画：魅力的な展覧会の開催＞

- ・ 「京都画壇」を多角的に紹介し、京都の美の系譜を重層的に理解できる常設展を開催
- ・ 世界が注目する多様な芸術表現を取り上げた現代美術等の企画展を開催
- ・ 美術・工芸の系譜に連なる伝統産業製品に着目し、地場産業の振興、技術の普及継承につながる展覧会を開催

展覧会名	共催	会期	日数	会場	入場者数実績(人) (1日あたり)
森村泰昌：ワタシの迷宮劇場	毎日新聞社 京都新聞	R4.3.12～R4.6.5	76	新館東山 キューブ	18,405 (242/日)
綺羅めく京の明治美術： 世界が驚いた帝室技芸員の神業	ライブエグザム 京都新聞他	R4.7.23～R4.9.19	51	南回廊1F	18,252 (358/日)
第9回日展京都展	京都新聞	R4.12.24～R5.1.20	20	北回廊 1F2F、光 の広間、 南回廊2F	-
跳躍するつくり手たち展：人と自 然の未来を見つめるアート、デザ イン、テクノロジー	京都新聞	R5.3.9～R5.6.4	76	新館東山 キューブ	-
合 計			223		-

<再整備基本計画：魅力的な展覧会の開催、次世代の育成>

- ・世界が注目する多様な芸術表現を取り上げた現代美術等の企画展を開催
- ・若手作家や市民の創作活動を支援

■彦坂 敏昭「砂のはなし」

(令和4年5月31日(火)～令和4年9月25日(日))

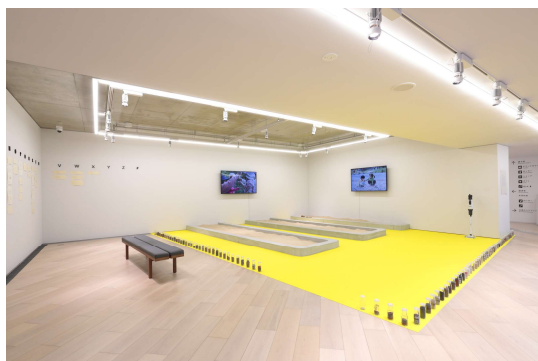
■藤田 紗衣「仮想ボディに風」

(令和4年10月8日(土)～令和5年1月29日(日))

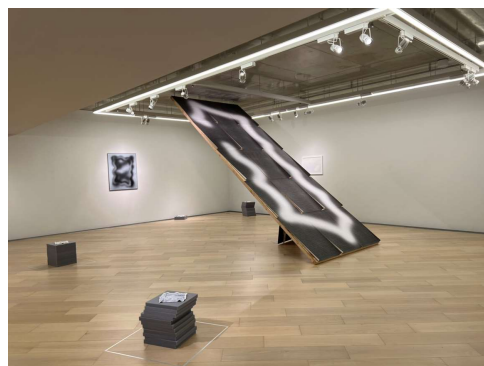
■八幡 亜樹「タイトル未定」

(令和5年2月14日(火)～令和5年5月28日(日))

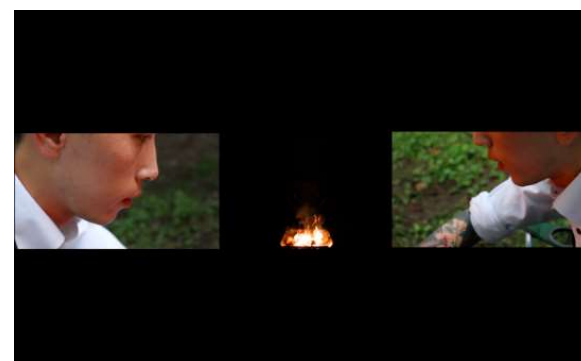
彦坂 敏昭「砂のはなし」



藤田 紗衣「仮想ボディに風」



八幡 亜樹



＜再整備基本計画：魅力的な展覧会の開催＞

- ・「京都画壇」を多角的に紹介し、京都の美の系譜を重層的に理解できる常設展を開催

展覧会名	会期	日数	会場	入場者数実績（人） （1日あたり）
春期 「特集展示：絵になる京都」	R4.4.29～R4.7.10	64	南回廊1F	12,187 (190/日)
夏期 「特集展示：幻想の系譜— 西洋版画コレクションと近代 京都の洋画」	R4.7.16～R4.9.25	64	北回廊1F	13,714 (214/日)
秋期 「特集展示：身体、装飾、 ユーモラス」	R4.9.30～R4.11.13	40	南回廊1F	-
冬期 「特集展示：東アジアと 近代京都の美術」	R4.12.4～R5.3.5	76	南回廊1F	-
	合 計	244		25,901

＜再整備基本計画：魅力的な展覧会の開催＞

- ・ 魅力的な海外展の誘致、特色ある美術館とのパートナーシップによる多彩で国際的な文化芸術交流を推進

展覧会名	主催者	会期	日数	会場	入場者数実績（人） （1日あたり）
兵馬俑と古代中国	産経新聞社 関西テレビ放送他	R4.3.25～R4.5.22	52	北回廊2F	87,971 (1,692/日)
第3回 PATinKyoto 京都版画トリエンナーレ2022	「第3回PATinKyoto京都版 画トリエンナーレ」推進委 員会他	R4.4.12～R4.5.8	25	南回廊2F	3,728 (149/日)
KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2022「アー ヴィング・ペン」	一般社団法人 KYOTOGRAPHIE	R4.4.9～R4.5.8	27	別館	13,698 (507/日)
ポンペイ展	ナポリ国立考古学博物館、 朝日新聞社、NHK京都放送 局他	R4.4.21～R4.7.3	51	北回廊1F	130,369 (2,556/日)
A V E N G E R S 展	読売新聞社、読売テレビ他	R4.7.8～R4.8.26	44	新館東山 キューブ	60,401 (1,373/日)
アンディ・ウォーホル・キョウト /ANDY WARHOL KYOTO	SME、MBSテレビ他	R4.9.17～R5.2.12	126	新館東山 キューブ	—
サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史	関西テレビ放送 産経新聞社他	R4.10.7～R4.12.11	58	北回廊2F	—
ボテロ展 ふくよかな魔法	読売テレビ、読売新聞社他	R4.10.8～R4.12.11	57	北回廊1F	—
合 計			440		—

＜再整備基本計画：調査研究の充実＞

・京都で活動する作家や美術関係者の自主研究会等とも連携し、調査研究のネットワーク拡大と知見の向上を図る。

■美術館ニュースの発行

■研究紀要の作成

■図録執筆

『綺羅めく京の明治美術―世界が驚いた帝室技芸員の神業』

・論文

後藤結美子「帝室技芸員制度と京都の工芸家」

森光彦「京都の画家が見た東京」

・コラム、章解説、作品解説執筆：森光彦、後藤結美子、中山摩衣子

『ボテ口展 ふくよかな魔法』

・章解説翻訳：中山摩衣子（部分）

『ANDY WARHOL KYOTO』

・章解説：山田隆行（事業企画推進室）

・章解説翻訳：土屋隆英（事業企画推進室）



<再整備基本計画：教育普及の充実>

- ・芸術系大学や高校と連携し、ワークショップルーム等で独自の先駆的教育を体験できる場を提供
- ・子どもや先生を対象に常設展の鑑賞講座や、ワークショップ、作家の創作過程の公開等の体験型プログラムを提供する。

■コレクションルーム春期関連ワークショップ ミュージアムズ・フォー連携講座 アートピクニック「コレクションルームで京都を発見」（5/5、講師：大森奈津子）

参加者人数：19名(参加者9名、保護者10名)

（内訳 1年生：1名、2年生：3名、3年生：1名、4年生：3名、5年生：1名）

■『綺羅めく京の明治美術―世界が驚いた帝室技芸員の神業』

8/13 ギャラリートーク（講師：後藤結美子） 24人

8/27 展覧会解説講座「帝室技芸員から見た京都」
（ミュージアムズ・フォー連携講座）（講師：森光彦） 50人

9/ 4 ギャラリートーク（講師：森光彦） 37人

9/10 ギャラリートーク（講師：中山摩衣子） 20人

■ザ・トライアングル

4/23 「川人綾：斜めの領域」関連プログラム 川人綾 アーティストトーク

9/ 3 「彦坂敏昭：砂のはなし」関連プログラム アーティスト・トーク
彦坂敏昭×小山田徹「同行 | Company」

■「森村泰昌：ワタシの迷宮劇場」関連プログラム

5/13,20 ギャラリートーク

5/15 森村泰昌による「ワタシの迷宮講座」

5/21 黄昏どきの「声」の劇 - 森村泰昌（声）× 中川裕貴（チェロ）

■ぽよよんDAYS

8/13、14 「妄想鑑賞レッスン」と「ラーニング・ツール体験会」

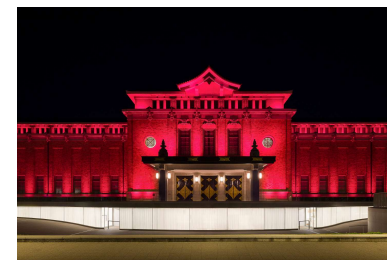


＜再整備基本計画：賑わい創出、MICE戦略の推進＞

- ・ 光の広間や庭園等を国際会議のレセプション等のユニークベニユーとして積極的に活用

令和4年度から利用可能となった中央ホールに加え、光の広間や東エントランスロビーをレセプション等のユニークベニユーとして積極的に活用する。

内 容	期間（設営撤去期間含む）
カルティエ 「シジエム サンス パル カルティエ」	R4.3.28~R4.4.21
京都商工会議所 議員懇話会創立40周年記念事業	R4.6.13
ブルガリ晚餐会	R4.7.5~R4.7.8
SAKE Spring 2022 VIPパーティー	R4.7.10
RARAフェロー交流会	R4.7.25
京都レザーファッションショー&受注会	R4.11.14~R4.11.15
HELMES IN THE MAKING	R4.11.15~R4.11.30
Art Collaboration Kyoto Opening Reception	R4.11.17



令和 4 年度予算概要

令和 4 年度予算は、歳入が、展覧会収入の減少等により前年度比で3億3,500万円の減額となった一方、歳出は、運営経費の見直しや展覧会経費の減少等により前年度比で3億7,800万円の減額となり、一般財源（市税等）の負担は令和3年度から4,300万円減の3億2,400万円となった。

(単位：百万円)

項目	令和 3 年度 当初予算	令和 4 年度 当初予算	差引	予算のうち主なもの
歳 入	1,014	679	335	コレクション展36、美術館使用料288、国補助金21、展覧会配当収入等314 など
歳 出	1,381	1,003	378	施設維持管理等400、展覧会企画・施設運営等307、コレクション展43、展覧会負担金等193 など
一般財源 (税負担額)	367	324	43	